

はげの自然を守るために



武井正明 (民主・社民)

① はげの自然を守るために(ア)トラスト運動により取得を予定しているキンヒバリの里(中町4丁目公共緑地)を市として買収しないか。(イ)はげの会と小金井市とのパートナーシップ協定を早期に締結しないか。

環境部長 (ア)状況を重視し検討したい。(イ)会の方と再度協議していきたい。

② 消防団員の確保の現状と今後について。(ア)平成24年度の各分団の改選状況はどうだったのか。(イ)小金井市在住の市職員の分団員参加を積極的に求めたい。

危機管理担当部長 (ア)20名退団し18名の新団員が加入した。(イ)消防団運営審議会の皆さんとも意見交換していきたい。



取得が急がれるキンヒバリの里

防犯カメラ設置と暴力団排除条例制定を願う



露口哲治 (自民党小金井)

犯罪、事件の解決には防犯カメラの活用が欠かせない。駅周辺での防犯カメラ設置を要望してきた。商店会の要望や地域での防犯活動も活発である。市は小金井警察署と安全・安心まちづくりに関する覚書を結んだ。都は昨年暴力団排除条例を施行し、多摩26市でも現在22市が同条例を施行あるいは制定に向けて協議中である。市内には暴力団事務所はないが暴力団員及び関係者は約100人いる。(ア)防犯カメラ設置の助成制度を問う。(イ)抑止効果のある人権や個人情報保護を重視した暴力団排除条例を早急につくるべきだ。

危機管理担当部長 (ア)指摘されてから商店会や町会等と実施に向けての話し合いをスタートした。地域団体の見守り活動の実績もあるので、商店会と連携団体の設置で6分の1負担となる。(イ)暴力団排除条例の制定に向け、準備に努めてまいりたい。

小金井市の特別支援教育の現状について



鈴木成夫 (民主・社民)

① 通級学級小学校と中学校の現状。(ア)第一中学校に設置される自閉症・情緒障がい学級について(イ)保護者ニーズに沿っているか。

学校教育部長 (ア)小学校通級指導学級は、二小3学級22人、南小4学級35人が学区を定め、保護者送迎で通級。中学校は1学級10名。授業は週8単位時間まで。学級の対象は、知的障がいを伴わない自閉症、またはそ

れに類するもの。(イ)校長会、特別支援学級設置校長会で検討してきた。

② 保護者ニーズに沿わない計画の変更はできないのか。

市長 一歩踏み出してスタートしてそれからでも必要な意見を聞くことは十分可能と思う。

教育長 今までの取組に反省すべき点があれば改良し、不安については、早期に解決していくよう取り組みたい。

太陽光発電促進及び東小金井周辺交通対策



宮崎晴光 (民主・社民)

太陽光発電で環境先進市へ

① 先進市に学びエコ実践を。(ア)市の施設に太陽光発電設備を設置し、売電収益を図らないか。(イ)長野県飯田市に学び環境教育実践を。(ウ)市民への太陽光発電助成を積極的に行うべき。

環境部長 (ア)施設新設や大規模改修に合わせ、売電収入も視野に入れ設置を検討したい。(ウ)積極的に助成したい。

学校教育部長 (イ)市内小中学校の取組は高く評価されているが、一層充実を図りたい。

② 東小金井周辺の交通対策(ア)東大通りに信号新設を(イ)北大通りサンドラッグ前交差点の安全対策を(ウ)北大通り渋滞対策を。

都市整備部長 (ア)ピーコック前横断歩道と高架下に、今年度中に信号を新設する。(イ)危険の度合いを調査し、警察に要望していきたい。(ウ)交差する都市計画道路整備の中で、右折レーン整備等に対応していきたい。

生産緑地制度の見直しを成人歯科健診の延長を



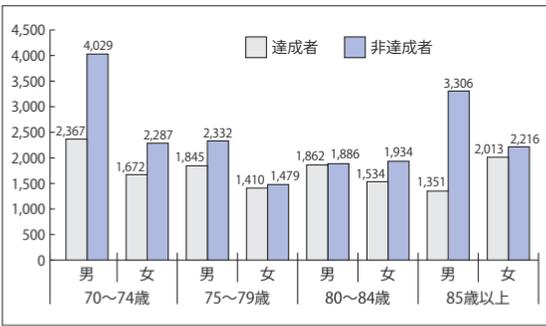
小林正樹 (公明党)

① 地域防災の観点からも必要性が高まっている、小金井市の財産である農地を保全するため、(ア)生産緑地の再指定制度の採用。(イ)複数回買取申出の許可。(ウ)面積要件の緩和を進めるべきだ。

環境政策課長 (ア)(イ)必要性と近隣市の状況を調査し判断したい。

② 食は長生きの秘訣。8020運動(80歳で20歯残す)達成のために、成人歯科健診を80歳まで延長しないか。(ア)5歳刻みの健診を増やした場合の試算は。(イ)達成者の医療費や各疾患の発生率が低くなるという調査結果が出ているが、医療費削減の観点からも実現をしないか。

福祉保健部長 (ア)受診者約240



茨城県における歯の保有本数と医療費の関連に関する調査より

高齢者の社会参加を「楽・喜」の観点から



宮下誠 (公明党)

① 全国で60以上の自治体が介護支援ボランティア制度を導入している。ボランティア活動の実績に応じてポイントが付与され、年間で上限5千円程度の交付金や商品券と交換できるというもの。高齢者を「支援する側」として活躍してもらおう、この制度を導入しないか。

福祉保健部長 高齢者が生きがいを持って介護予防の推進に努める等につながれば、大きな効果が期待できる。ただ、ポイント制がボランティア活動に評価がなじむかどうかの評価など課題がある。今後も研究したい。

② 社交ダンスは年齢を超えて楽しく健康づくりができ、市内でも盛んだ。市民交流センター

市職員の高額手当は削減を



渡辺大三 (みどり・市民)

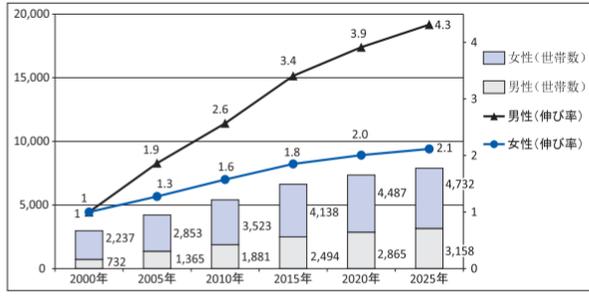
① (ア)小金井市職員の退職金・地域手当・住居手当・扶養手当などを引き下げれば、大体8千万円の財源が捻出でき、市民サービスのレベルアップや、新たな市民負担増の緩和に充当することができる。市長の認識を問う。(イ)地域手当が国基準を超えていることによる罰金は、昨年度はいくらか。

市長 (ア)退職金に関しては国等の動向、都や近隣市の対応を見て行く。住居手当は4年かけて対応していく。

企画財政部長 (イ)千836万5千円である。

② 資源ごみの収集拠点を商店街に設け、市民が持ち込んだらポイントカードにポイントを付与し、個店での買い物に使えるようにすれば、ごみは減り、市民にも商店にもメリットがある施策となる。研究を。

環境部長 他自治体での導入事例を調査・研究する。



小金井市における世帯主が65歳以上の単独世帯推移(東京都世帯数の予測 統計データ 2009年3月)